

2025年6月12日[※] 17:50–20:00

東京藝術大学中央棟第1講義室

全学科学生対象

アートプロジェクト演習履修者

参加必須

主催＝芸術未来研究場 アート×ビジネス領域

要予約（QRコードのリンク先にある予約フォームにてご登録ください）



ART
BUSINESS
TOKYO GEIDAI

vol. **III**

2025年度 | アート×ビジネス講座 | 第3回 |

ART BUSINESS LECTURE
2025 {03}

主催＝芸術未来研究場 | アート×ビジネス領域

「瀬戸内国際芸術祭2025」総合ディレクター

北川フラム

アートの力
芸術祭というアクション



ヘザー・B・スワン・ノンダ・カサリディス「海を夢見る人々の場所」 Photo: Keizo Kioku
Heather B.Swann + Nonda Katsalidis "Place for Sea Dreamers" Photo: Keizo Kioku



〔登壇〕 **北川フラム** [アートディレクター／メディエーター／アートフロントギャラリー代表]

〔進行〕 **中村政人** [アート×ビジネス領域 領域長／絵画科油画 教授]

〔概要〕 芸術は都市のギャラリーや美術館だけにあるものではありません。自然の中、地域の中、人々の暮らしの中にこそ、新しい表現と出会いの可能性が広がっています。第3回講座では、アートを通じて地域と世界をつなぎ続けてきた日本を代表するアートディレクター北川フラム氏をお迎えして実施します。

2000年に新潟県越後妻有地域で始まった「大地の芸術祭」をはじめ、「瀬戸内国際芸術祭」や「北アルプス国際芸術祭」など、国内外から高い評価を受ける地域芸術祭を多数プロデュース。美術の枠にとどまらず、建築、農業、観光、福祉、教育といった多様な領域と交差しながら、人々と土地に根ざした芸術実践を行ってこられました。

本講演では、こうした取り組みの背景にある理念や、作品とコミュニティの新しい関係性、そして「アートによって開かれる社会」の未来について、これまでの具体的なプロジェクトの紹介を交えながらお話しいたします。芸術の力を信じ、実践を通じて社会に関わっていきたいと考える学生の皆さんにとって、創作の意味やアートの可能性を根底から問い直すきっかけとなる時間になるでしょう。芸術を学ぶ方はもちろん、地域づくりやキュレーション、文化政策に関心のある方もぜひ奮ってご参加ください。

●北川フラム [きたがわ・ふらむ] ●1946年新潟県生まれ。東京藝術大学美術学部芸術学科卒業。アートディレクターとして、美術と地域社会の関係を問い直す活動を長年にわたり展開している。2000年にスタートした「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」では、里山の風景や暮らしと結びついたアートプロジェクトを通じて、地域再生の新たなモデルを提示。以後、「瀬戸内国際芸術祭」「北アルプス国際芸術祭」などの総合ディレクターとしても活躍し、国内外から高い注目を集めている。ジャンルや国境を越えた多様なアーティストとの協働により、「人間の生きる場所としての芸術」の可能性を追求。文化功労者、芸術選奨文部科学大臣賞、フランス芸術文化勲章オフィシエなど受賞多数。